

県事協だより

NO. 69



2011年 10月 28日

発行 鹿児島県公立小中学校事務職員協議会

編集 県事協理事会

活動経過及び予定

- 7月 25日(月) 第6次県費事務改善検討委員会①
- 8月 1日(月) HP更新 35
- 8月 3日(水) 第6次県費事務改善検討委員会②
- 8月 5日(金) 第6回理事会／第2回評議員会
第10回 県事協 総代会
共同実施に関する現状報告会
創立10周年記念レセプション
- 8月 23日(火) 第6次県費事務改善検討委員会③
- 9月 1日(木) 県事協だよりNO.67 発行
- 9月 15日(木) 第7回理事会／第2回常任委員会
- 9月 22日(木) 県事協だよりNO.68 発行
- 10月 13日(木) 県教委教職員課など各団体へ
マニュアル点検依頼
- 10月 28日(金) 第8回理事会

5月25日に第1回常任委員会を開催してから夏季休業中3回の県費事務改善検討委員会、9月15日の第2回常任委員会を経て10月13日には1回目のマニュアル点検依頼を行いました。常任委員、検討委員の方々には大変お世話になりました。常任委員の4名の方々には今後もまだまだお付き合いいただきます。

県事協の仕事に携わってみて

日置市立日新小学校 今井 浩貴

平成22年度から県事協の常任委員に委嘱され、現在2年目になります。県事協の仕事に関わる前から「諸手当認定電算マニュアル」や「旅行起点表」、「実務手引書」、「公立学校共済組合様式記入例集」等、実際、実務をする上で良く活用させていただいていましたので、常任委員の打診があったときも快く引き受けました(と思います)。県下の最大公約数の会員数を誇る県事協の役割については以前から個人的にもとても重要視していましたし、「共同実施」制度が導入される自治体が増えるにつれその役割はさらに増していくものと確信しています。

自分は昨年度から「諸手当認定電算マニュアル」の主に「扶養手当」を担当していますが、昨年度1年間経験したことで、今年度はそんなに加除・修正等はないと考えていたところ、地区からの要望や指摘等、予想よりも多くの編集作業をすることになりました。やはり多くの会員の目に触れることで少しずつではありますが、より良いものができていくんだなということを

痛感しているところです。

年に6～7回の会合があり、特に夏季休業中の3回の検討委員会は短いスパンに加除修正等の編集作業を進めていかなければならないため、結構余裕がなくキツイものがありました。何とかこなすことができました。(まだ、完成した訳ではありませんが・・・)

常任委員の自分ですら、こんな感じですので、理事はもっと大変です。

県事協事業に関わってみて本当に感じたことです。

個人的には、理事の役割軽減のため、人員を増やす等の対策が必要ではないかと感じます。諸事情があるのは十分理解してはいますが・・・

とにかく、県事協の目指すすべての事務職員が等しく情報を共有し、各地区研修会のレポートを交換し合い一人ひとりの資質の向上を図ることで、少しでも子どもたちの学びと育ちを支えることにつながるよう地味ながら自分の役割をキチッと果たしていきたいと思えます。



大隅地区です！！

錦江町事務職員会について

報告:錦江町立田代小学校 浜田秀幸

こんにちは、錦江町事務職員会です。

錦江町事務職員会は小学校5名、中学校2名の計7名で構成され、月1回程のペースで研修会を開催し、諸手当認定の相互点検を含め県費・町費事務の事例研修など、少人数ながら毎回多様なテーマで活発な意見交換がなされています。

錦江町では来年度より事務支援室(共同実施)が本格実施される予定で、その準備ということで今年度は研修会を年15回に増やし、通常の研修に加えて支援室に係る環境整備や業務内容の研究など、当面考えられる課題に対し試行錯誤しながら取り組んでいます。

支援室に関しては町教委側も積極的に動いており、事務職員研修会での協議を経て、拠点校である大根占小事務室の改修工事や支援室運営に必要な備品・消耗品費の予算措置などはすでに今年度のうちに整備されています。(そのぶん先延ばしにはできないというプレッシャーもありますが...)教委の理解や1町1グループという取り組みやすさなど、錦江町はかなり恵まれた環境にあると言えます、今年度中にやるべきことや始まってからも考えるべきこと等まだまだ残された課題は多くあるものの、4月からの支援室業務に向けて今のところ順調に進展しているのではないかと思います。「無理せず、できることからやっていく」ことを基本に、町内事務職員みんなで知恵を出し合い、日々少しずつでも前進できるよう活動を続けているところです。

北薩地区です！！

北薩地区学校事務職員研究協議会の紹介

報告 薩摩川内市立大妻小学校 柳村 二美

私たちの北薩地区学校事務職員研究協議会は、出水市・阿久根市・長島町・さつま町・薩摩川内市の2町3市の事務職員で構成され、総勢114名の大所帯(県内2番目)になります。甌島や獅子島といった離島もあり、人事異動の標準で言えば北薩地区でA・B・C全部を満たしてしまいます。新幹線の開通で鹿児島⇄出水間でも所要時間26分と随分短くなり、夏冬の飲み会も天文館でということも多くなりました。

地区の研修会は5月、10月、2月の年3回開催されます。その他にも各市町村単位(薩摩川内市は更に3ブロックに分かれて)で月1回程度の研修会を行っています。10月の地区事務職員研修会では、4つの分科会を設定し、8ブロックが輪番でレポートを発表します。大所帯故に研修会場の選定には苦労しますが、向上心に溢れた事務職員が多く活発な意見が交わされています。

2010年度からは薩摩川内市で学校事務の共同実施が始まり、子どもたちの学びを保障しようと試行錯誤しながら取り組んでいます。2年目となる今年度は各支援室の活動がまわりの職員にも見えるものとなり、認知度が高まっているように感じます。各支援室で取り組んでいる「支援室だより」の発行も、功を奏しているのではないのでしょうか。

また出水市・阿久根市・長島町でも2011年4月から本格実施となりました。小さな学校も多く、事務職員未配置校支援を取り組みの重点の一つとして位置づけ、子どもたちへの教育支援にできるだけ差がでないようにとの思いで、取り組みを進めています。さつま町では2011年1月から本格実施となります。それぞれの考え方の違いや取組内容の違いはあっても、私たち事務職員が学校にいる意味を念頭に、「子どもたち」を中心においた支援室活動となっていければと思います。

わが北薩も海・山ありの風光明媚なところ。魚も野菜も美味しい、もちろん焼酎も。是非今後の生活設計の中に北薩地区への異動も入れて頂いて、みんなで熱く語り、学習を深めましょう！



ほっと、雑談タイム2

前々号の越智さんの魚釣りの投稿につられて私も趣味のはなしです。

子どもの頃からバイクに乗ってみたいかったのですがなかなか免許をとる機会がありませんでした。やっと2年前の9月に一回しかない人生だと思い立って(少し大げさ?)免許を取得しました。免許の種類は普通自動二輪のAT限定(スクーター用)。自動車学校の方にAT限定よりも最初から大型自動二輪取っておけばとアドバイスを受けたのですが、そのときは乗りたいバイクが決まっていたためその免許で大満足。その乗りたいバイクに一年半乗っています。それなりに楽しいのですがなにか物足りない…。ツーリングをしている大型バイクが少しずつ気になり…。結局どうしても我慢できずにまたこの9月から大型自動二輪の免許を取りに行くことにしました。当分バイクを買い換える資金はないのですが、勤務校の近くに自動車学校があるので、免許だけでもとれるときに取っておこうと仕事が終わってから通いなんとか免許ゲット。今年で40歳になる自分にこんなことしている場合か?と自問自答しながら。もし、大型バイクが手に入ったら誰かツーリングに連れて行ってください。

(理事 濱田)



写真は、
夏季休業中に行われた
「県費事務改善検討委員会」
の様子です。

